

会 議 録

会議の名称	平成29年度第7回「忍川・酒巻導水路」川の国埼玉はつらつプロジェクト推進協議会
開催日時	平成30年2月13日(火) 開会：午後1時30分 閉会：午後2時20分
開催場所	行田市商工センター403研修室
出席者(委員)氏名	自治会連合会：橋本委員、佐藤委員、高澤委員、羽鳥委員 地域活動団体：小林委員、田口委員、柿沼委員 埼玉県：藤井委員、木田委員、落合主任(代)、高遠技師(代)、富岡委員 行田市：樋口会長、岩田委員、野中主幹(代)、鈴木主事(代)、吉田委員 田島委員、加藤委員、広田主幹(代)
欠席者(委員)氏名	自治会連合会：栗原委員、江原委員 地域活動団体：今村委員、湯澤委員、五十幡委員 行田市：蓮沼委員、五十幡委員
事務局	企画政策課：川上主幹、守主任、沼尻主事
その他関係機関出席者	埼玉県水辺再生課：柴山技師 埼玉県加須農林振興センター：竹尾技師
会議内容	・川の整備計画について ・その他
会議資料	・会議次第 ・資料1 皿尾橋下流右岸の整備について【行田市・行田県土整備事務所】 ・資料2 酒巻導水路水路断面案【加須農林振興センター】 ・資料3 護岸タイプ毎の施工延長(予定)【加須農林振興センター】 ・参考資料 埼玉の川の再生
その他必要事項	傍聴者 なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会 2 あいさつ 樋口会長 3 議事
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議は原則公開となっている。 ・それでは、本日の議事に入る。議事の（１）「川の整備計画」について、事務局及び行田県土整備事務所から説明をお願いする。
事 務 局	<p style="text-align: center;">＜資料１により説明＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忍川の三角スペースについて、前回の協議会にてコヒガンザクラ等の植樹について検討してはどうかとの意見があった。事務局にて地元自治会と再度調整を行った結果、植樹について了承をいただいた。そのため、コヒガンザクラを３本植樹、ベンチを２～３基設置するという整備案を改めて提案させていただく。なお、コヒガンザクラについては今年度の植樹を予定しており、今後、行田さくらロータリークラブと調整をしていく。
行田県土	<ul style="list-style-type: none"> ・三角スペースの整備案については事務局の説明のとおり。 <p>なお、工事の進捗状況についてであるが、三角スペースを含む皿尾橋から吹上橋までの６８０ｍの区間について現在、工事を実施している。また、忍川上流の１７号バイパス橋梁から春日橋までの２６０ｍの区間について、２月６日に契約し、今後工事を実施する。その他の区間についても順次、工事の発注をしていきたい。</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・整備案について意見があればお願いします。
橋本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コヒガンザクラの植樹の時期はいつ頃を予定しているのか。
行田県土	<ul style="list-style-type: none"> ・行田県土にてコヒガンザクラを預かって、工事の進捗に合わせて植えることもできる。時期ややり方については、関係者と調整していきたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・三角スペースの整備について、本提案の内容でよいか。
議 長	<p style="text-align: center;">＜異議なし＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは三角スペースの整備については、コヒガンザクラを３本植樹する、ベンチについては２～３基設置する案にて決定させていただく。 ・以上の内容をもって、平成２９年度における忍川の整備計画について了承されたものとする。

議長	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、酒巻導水路の整備方針について、市 道路治水課及び加須農林振興センターから説明をお願いします。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料3に記載されている橋梁新設予定箇所に橋梁を新設する予定である。なお、平成30年度は設計委託を実施する予定であり、その予算を計上したところである。
加須農林	<p style="text-align: center;">＜資料2・3により説明＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回の協議会にて資料3の橋梁新設予定箇所より下流は両岸L型水路にて決定をさせていただいた。今回は予定箇所より上流について、案1として「左岸L型水路、右岸現況護岸」、案2として「左岸L型水路、右岸環境護岸」の2案を提示させていただく。なお、「両岸L型水路」にて延伸する案については、右岸側は住宅地もなくなり、ポタリングルートとしての利活用の観点から、本プロジェクトの主旨にそぐわないと考え、あくまでも参考として資料に記載させていただいた。 <p>なお、従前の協議会にて、本プロジェクトにおける工事が125号バイパスまで到達するかのような誤解を与える説明・資料があったので、謝罪し、今回訂正したい。改めて事業を精査したところ、現状では各案とも資料3に記載されている地点までしか施工できない結果となった。</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> 酒巻導水路については、今回、整備区間の護岸の工法について、いずれも125号バイパスまで到達はしないが、案1または案2で最終決定する必要がある。整備案について、意見があればお願いします。
高澤委員	<ul style="list-style-type: none"> 橋の幅員はどの程度を予定しているか。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 具体的には今後、検討していく。両側歩道は難しいとは思いますが、片側歩道で4トントラック等が通行できる程度の幅員で計画していきたいと考えている。
高澤委員	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁新設予定箇所より上流の右岸側について、道路を舗装する予定はあるか。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 市としては予定していない。
高澤委員	<ul style="list-style-type: none"> 県に聞くが、本プロジェクトは今後も継続する可能性はあるか。
木田委員	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では平成32年度までの事業としか明言できない。
高澤委員	<ul style="list-style-type: none"> 工事の予算を増額することは可能か。

高逵委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクト全体の予算は決まっているが、他地区で予算の過不足が生じた場合、流用は可能である。
高澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・長野地区の住民として、星河地区との架け橋となる橋梁の新設については評価したい。なお、長野地区としては案1がいいと思う。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・確認であるが、右岸側について、案1・案2ともに砂利舗装程度は行うのか。
加須農林	<ul style="list-style-type: none"> ・案2については砂利舗装を行うが、案1については現況護岸であるため、行わない。
田口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・案1は、右岸側は何もしないという案であるが、本プロジェクトは埼玉県が後世に美しい環境を引き継ぐという主旨もあると思う。そのため、同じ予算を投下するのであれば、環境にも配慮した整備を行う案2が良いと思う。
高澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・案2では今後、右岸側に遊歩道を設置する余地がなくなってしまう。長野地区と星河地区の事業の公平性を勘案し、今後の事業継続に期待して、案1が良いと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの案の違いを改めて説明させていただく。案1は右岸側の整備を行わない分、左岸側の遊歩道を延伸するという案である。それに対し、案2は右岸側についても護岸整備を行い、それに伴い歩道についても砂利舗装を行うものである。いずれの案にしても左岸側の遊歩道は途中で終わってしまうが、左岸側の市道は舗装されているため、ポタリングルートとしてはつながることとなる。
橋本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の協議会では護岸整備は玉石工法であったと思うが、今回の協議会ではアンカー式護岸となっている。アンカー式護岸より玉石工法の方が施工距離が伸びるのではないか。アンカー式護岸は利水・治水の面では有効とは思いますが、親水の面ではそぐわないと思う。
加須農林	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに前回の協議会の資料では玉石護岸のような断面図となっているが、前回はあくまでも自然石を張ったブロック積み工法とアンカー式の石積み工法を比較させていただいた。なお、資料2の写真のとおり、アンカー式護岸では護岸と護岸の間に転落の際に這い上がるスペースを設けており、安全面にも配慮している。また、這い上がる平場のスペースを設けたことにより植生も期待できる。水辺再生100プランの現場においてもご覧になっていただければ分かるが、一部植生が見受けられる。

橋本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンカー式護岸で了解した。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・星河地区としての考えはどうか。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まず橋梁の新設について、星河の自治連会長として感謝する。また、護岸については、砂利でも舗装してもらえれば現状よりは良くなるので、案2で良いと思う。
高澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは案2で良いと思う。
田口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市の道路治水課への要望であるが、新設する橋梁については、デザイン性等も検討して欲しい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・橋のデザイン等については、市にて検討させていただく。 ・なお、案2の確認であるが、橋梁予定箇所の上流の右岸については、コヒガンザクラやハマギクは植えられないということによいか。
加須農林	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りであるが、コヒガンザクラはスペース等の問題もあり難しいが、ハマギクであれば設計委託の中に取り込んで検討することはできる。
元 荒 川	<ul style="list-style-type: none"> ・案2についてであるが、左岸側については、資料2で明記されているように進修館高校までしっかりと遊歩道を整備し、もし予算が余れば右岸側の護岸整備の距離を伸ばして欲しい。護岸の破損が激しいため、土地改良区としては右岸側の護岸整備に配慮して欲しい。
加須農林	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは酒巻導水路の護岸工法については案2でよいか。
<p><異議なし></p>	
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは酒巻導水路の整備方針については、進修館高校より下流については「両岸L型水路」、上流については「左岸L型水路、右岸環境護岸」の案2で決定させていただく。 次に、議事の(2)「その他」とあるが、事務局から何かあるか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の協議会は今回で終了である。来年度の協議会については平成30年5月頃を予定しており、今後とも協力をお願いしたい。

議 長	・その他、報告等はあるか。
木田委員	・本日、「埼玉の川の再生」という冊子を配布させていただいた。これまで県で取り組んできた水辺再生の事例が掲載されている。埼玉県としては今後も水辺空間の再生に取り組んでいくので、引き続き地域の方々のご協力をいただければありがたい。
議 長	・以上をもって、第7回川の国埼玉はつらつプロジェクト推進協議会を閉会する。 ＜ 閉 会 ＞